

# 情報革命で人々を幸せに



2025年3月

ソフトバンクグループ株式会社(東証プライム市場 9984)

**免責事項**

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」([https://group.softbank/ir/investors/management\\_policy/risk\\_factor](https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor))をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業(SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。)に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

**商標について**

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

**重要なお知らせ－SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項**

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGIは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設定又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やLINEヤフー株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

**本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ**

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P. (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC (文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。

SBファンド(ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びバンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。



KAWASUMI  
51

H. KIMURA  
68

STEWART JR.  
2

YAMAKAWA  
25

K. NAKATA  
69

AKIHARA  
17

HIGASHIMURA  
18

IBAO  
9

# 会社概要

(2024年3月末)

|                  |                         |
|------------------|-------------------------|
| 商号               | ソフトバンクグループ株式会社          |
| 設立年月日            | 1981年9月3日               |
| 本社所在地            | 東京都港区海岸1-7-1            |
| 代表取締役会長 兼 社長執行役員 | 孫 正義                    |
| 従業員数             | 255人(連結ベース約6.5万人)       |
| 証券コード            | 東京証券取引所<br>プライム市場(9984) |
| 単元株式数            | 100株                    |
| 2024年度1株当たり配当金   | 年間44円(予定)               |

|    |        |
|----|--------|
| 株価 | 8,808円 |
|----|--------|

|      |        |
|------|--------|
| 時価総額 | 12.9兆円 |
|------|--------|

格付(長期発行体格付)

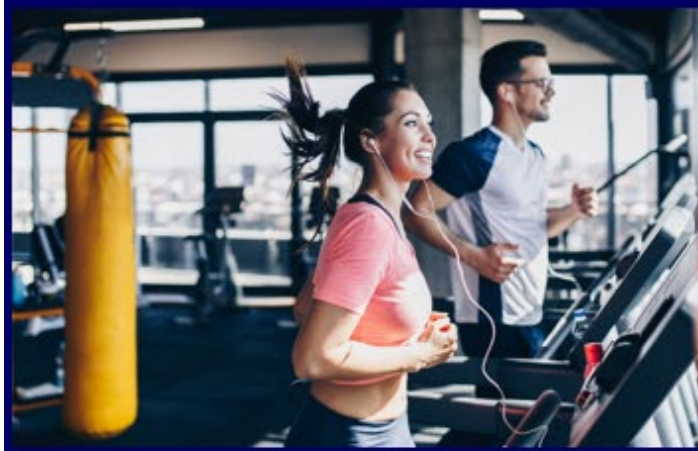
|                  |   |
|------------------|---|
| 日本格付研究所<br>(JCR) | A |
|------------------|---|

|     |     |
|-----|-----|
| S&P | BB+ |
|-----|-----|

※ 株価、時価総額および格付:2025年2月27日時点



# 経営理念

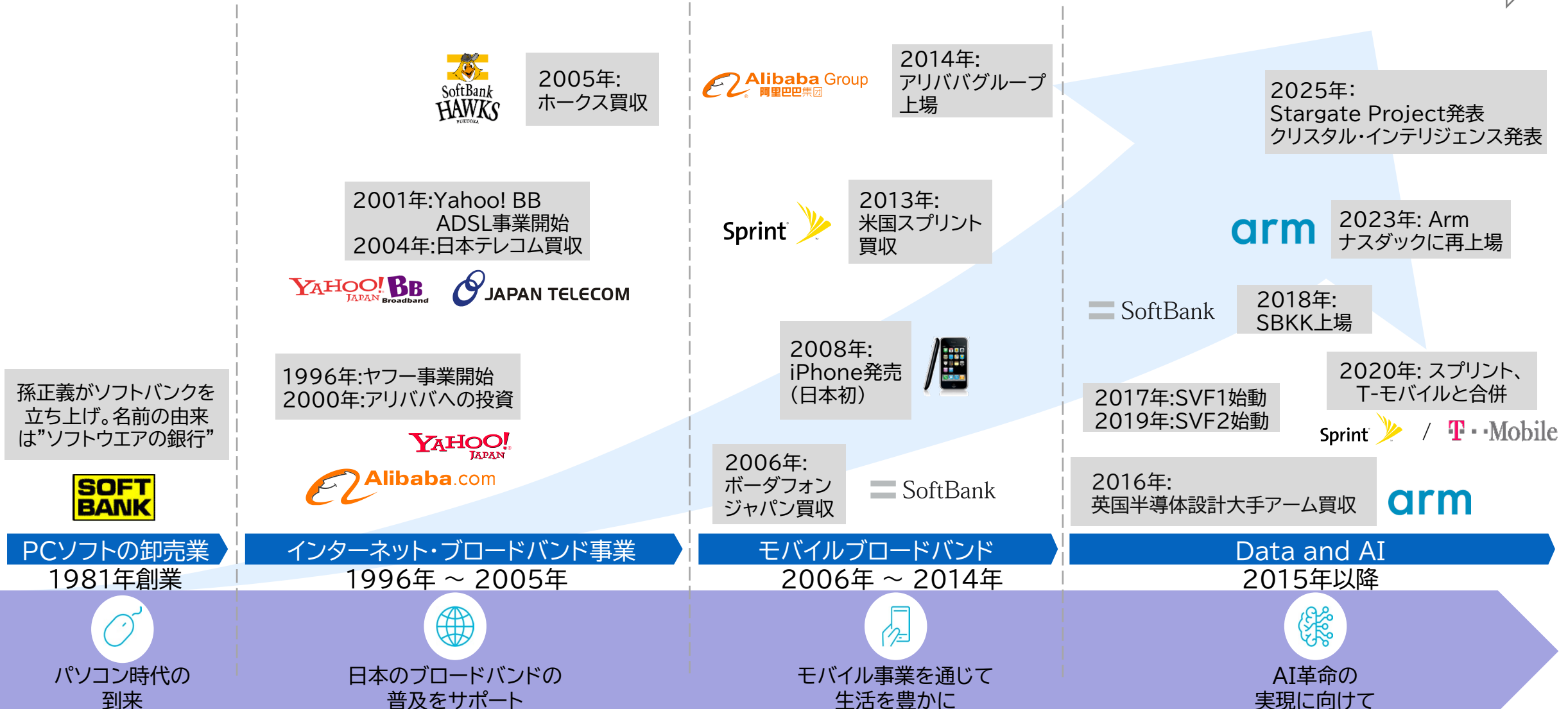


情報革命で人々を幸せに



# ソフトバンクの事業変遷ーグローバルな投資持株会社に

変わらぬビジョン:「情報革命で人々を幸せに」



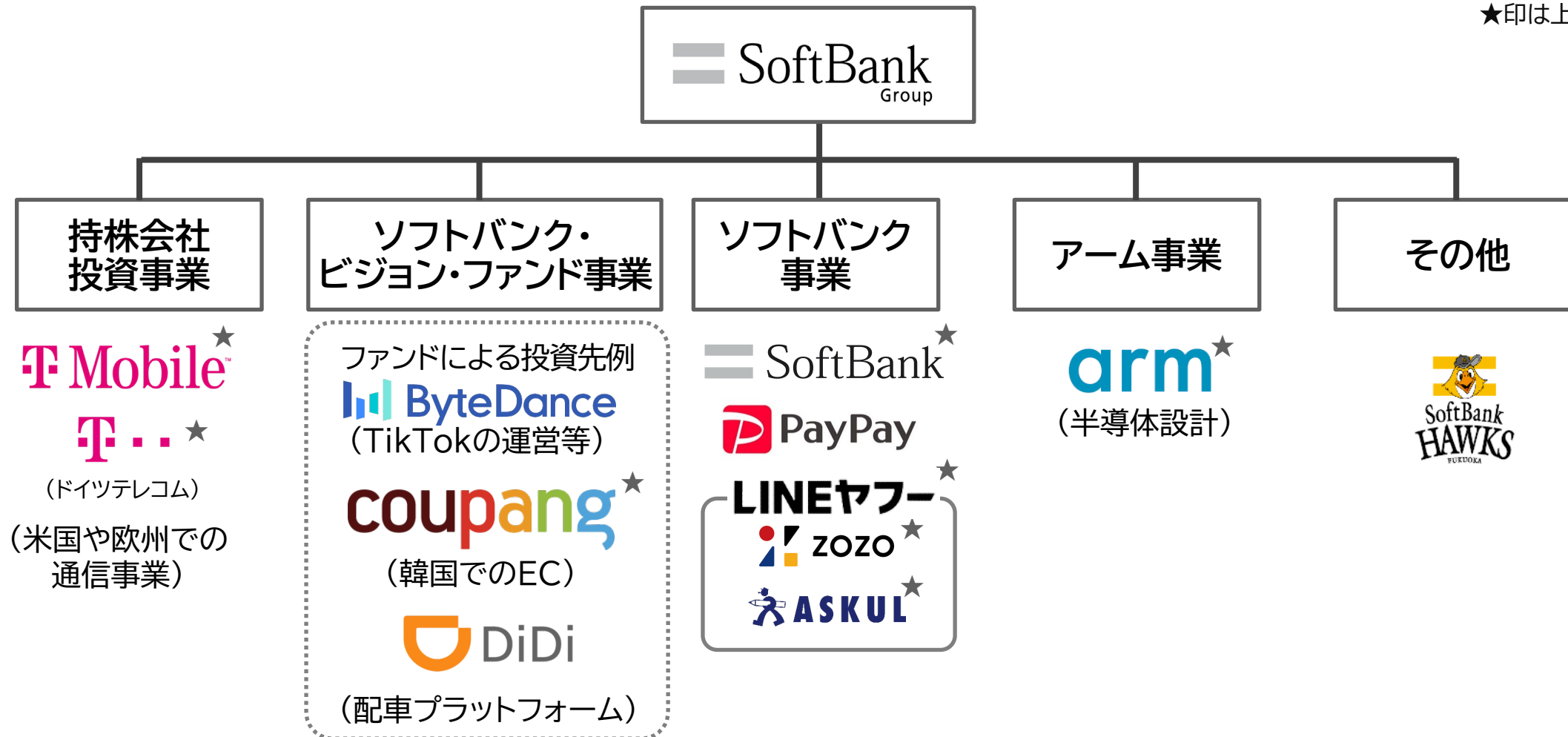
SBKK:ソフトバンク SVF:SoftBank Vision Fund

# 事業セグメントおよびグループ企業

幅広い業種・地域に展開する企業群

2025年2月末現在

★印は上場企業



# 連結業績

| (億円)  | 2023年度<br>Q1-Q3 | 2024年度<br>Q1-Q3 | 増減額     |
|-------|-----------------|-----------------|---------|
| 売上高   | 50,019          | 53,026          | +3,007  |
| 投資損益  | -5,389          | 21,700          | +27,090 |
| 税引前利益 | 2,641           | 12,709          | +10,069 |
| 純利益   | -4,587          | 6,362           | +10,949 |

アームやSBKKなどの当社上場子会社は、売上高などは連結も、株価変動による公正価値増減は反映されない

純利益:親会社の所有者に帰属する純利益

# 重要指標 (2024年度Q3)

|                     | 2024年9月末 |   | 2024年12月末 |
|---------------------|----------|---|-----------|
| NAV<br>(時価純資産)      | 29.0 兆円  | ▶ | 29.3 兆円   |
| LTV<br>(純負債／保有株式価値) | 12.5%    | ▶ | 12.9%     |
| 手元流動性               | 3.8 兆円   | ▶ | 5.0 兆円    |

NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年9月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年12月末時点)」を参照  
手元流動性＝現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋債券投資＋コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース(SB Northstarを除く。ただし現金及び現金同等物並びに債券投資は含む。)

# 当社の成長戦略

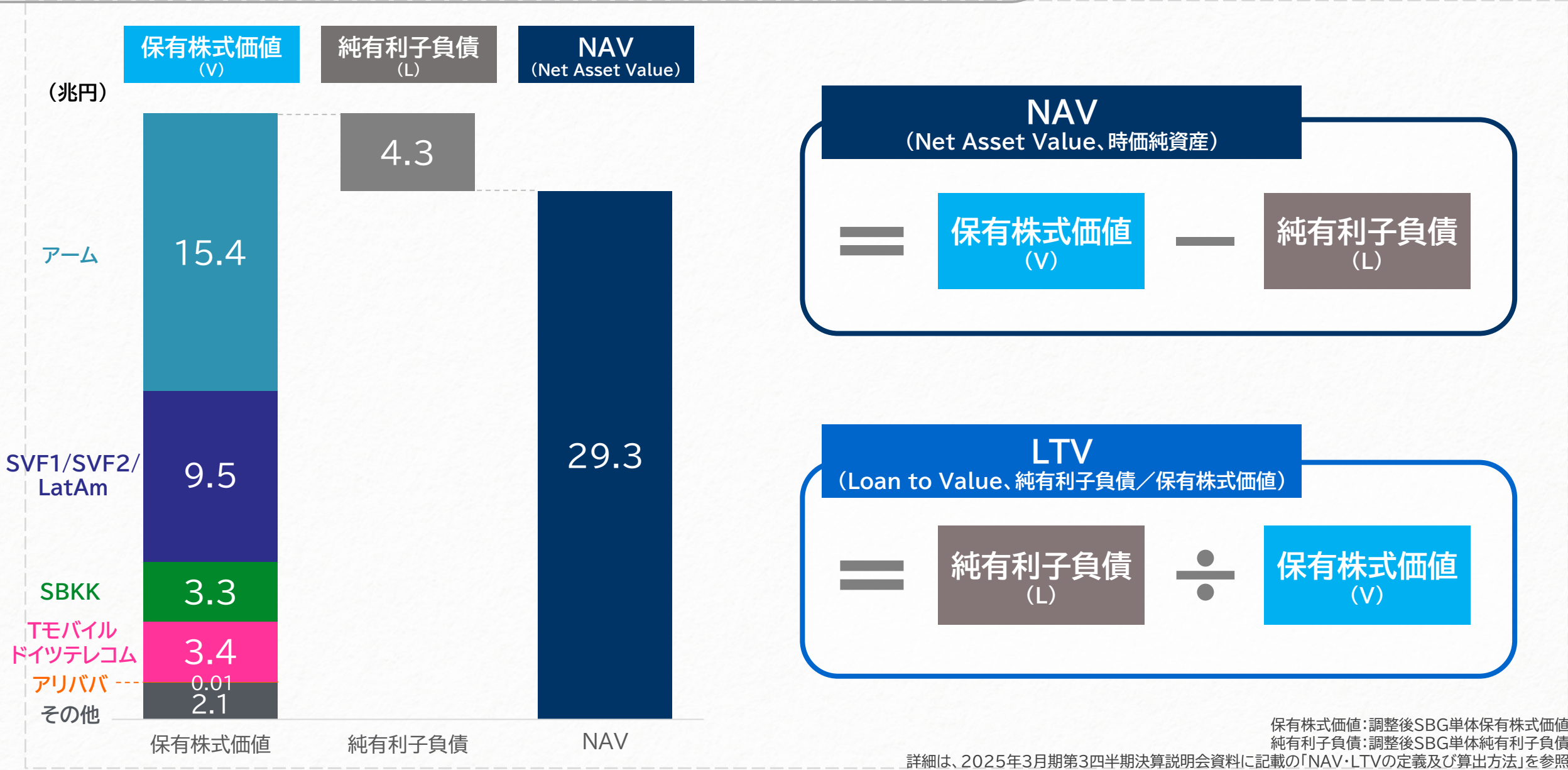
投資サイクルを繰り返しながらNAVを拡大

IPOはあくまで企業の成長の通過点

一方、価値の顕在化および資金化の柔軟性を高めるうえで有効

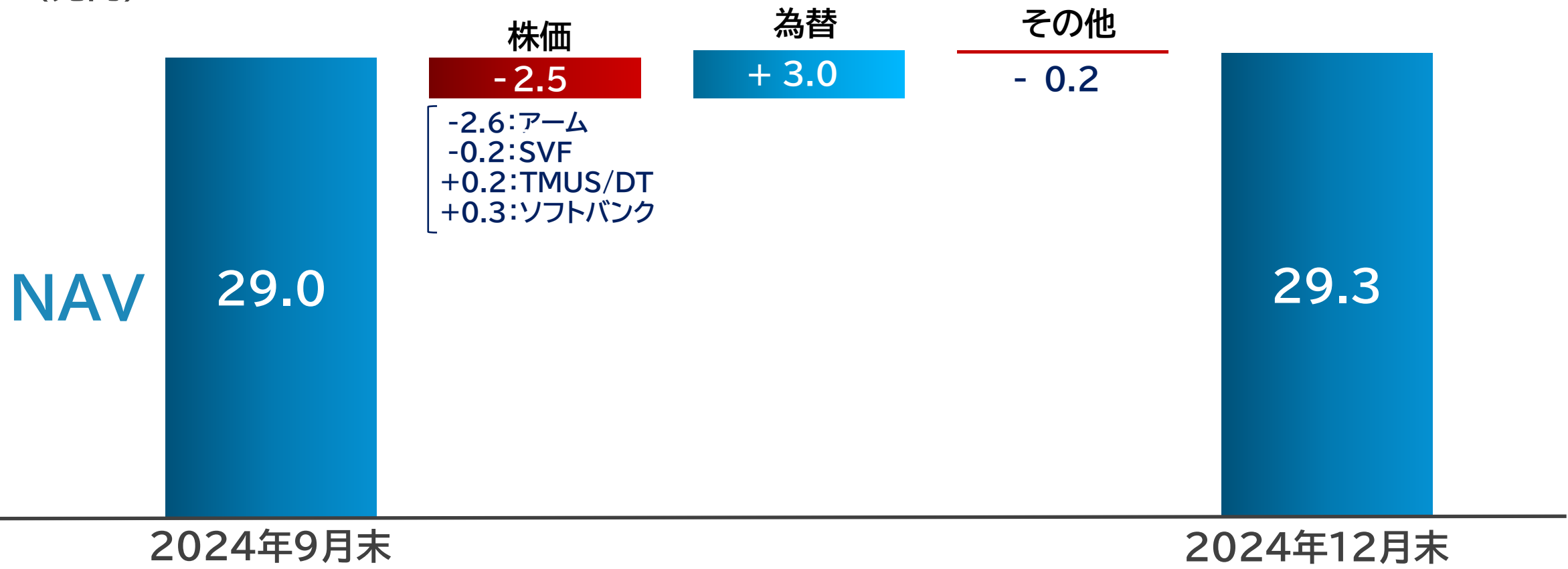


# 当社の重要指標：NAV・LTV



# NAVの増減要因

(兆円)

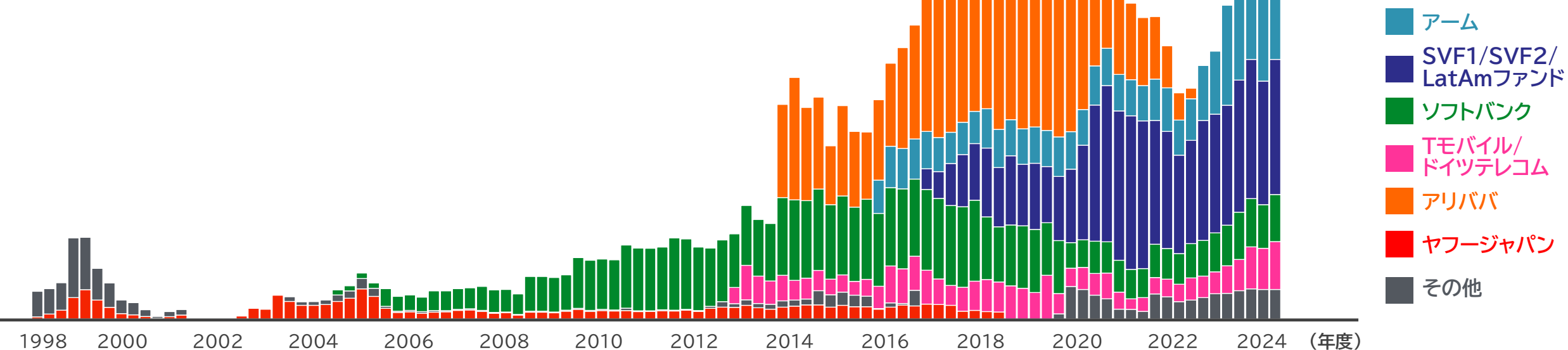


NAVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年9月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2024年12月末時点)」を参照  
TMUS/DT:Tモバイル/ドイツテレコム of 合計。SVF:SVF1/SVF2/LatAmファンド of 合計  
為替:2024年12月末時点の現地通貨建ての保有株式価値、有利子負債および手元流動性について比較対象時点の為替レートで円換算したときのNAVとの差額。ただし、SVF1・2・LatAmファンド・SB Northstarは米ドル建てとみなして試算

# NAV推移(1998年度～)

(2024年12月末)

29.3兆円



- 企業概要: 半導体IP(電子回路の設計情報などの知的財産)のライセンス事業を行う英国の会社

スマートフォンにおける半導体IPの  
99%以上がアームベース

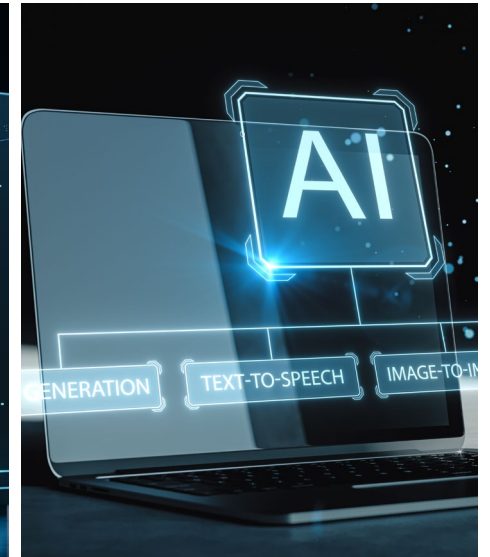


Apple (iPhone)、Google、Samsung、  
Oppoなど

データセンターやPCにおける  
半導体IPでのシェアも拡大



AWS (Amazon)、  
Google、NVIDIAなど

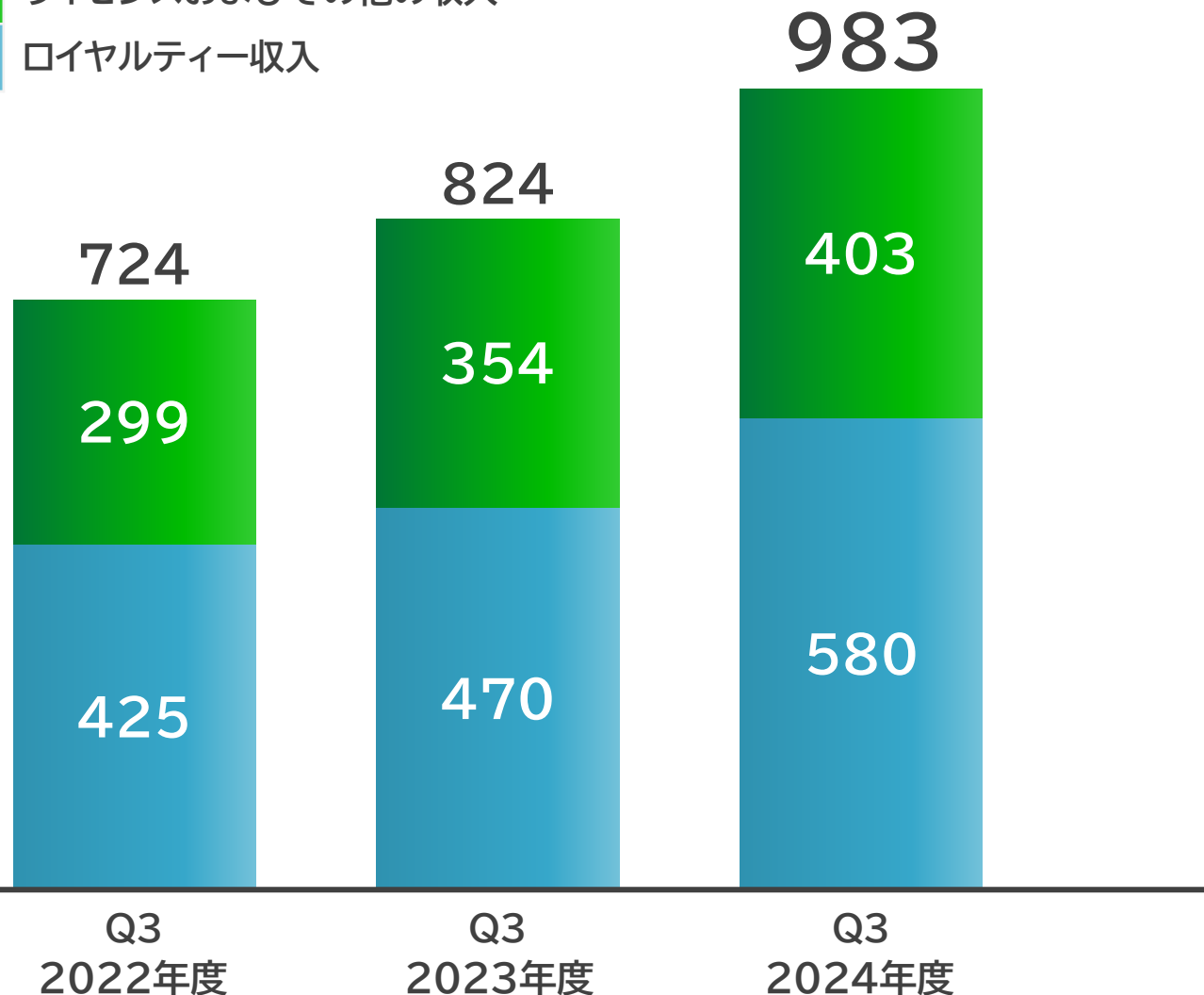
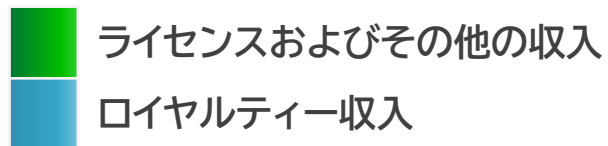


Microsoftなど

# 売上高(四半期)(米国会計基準)



(\$ M)



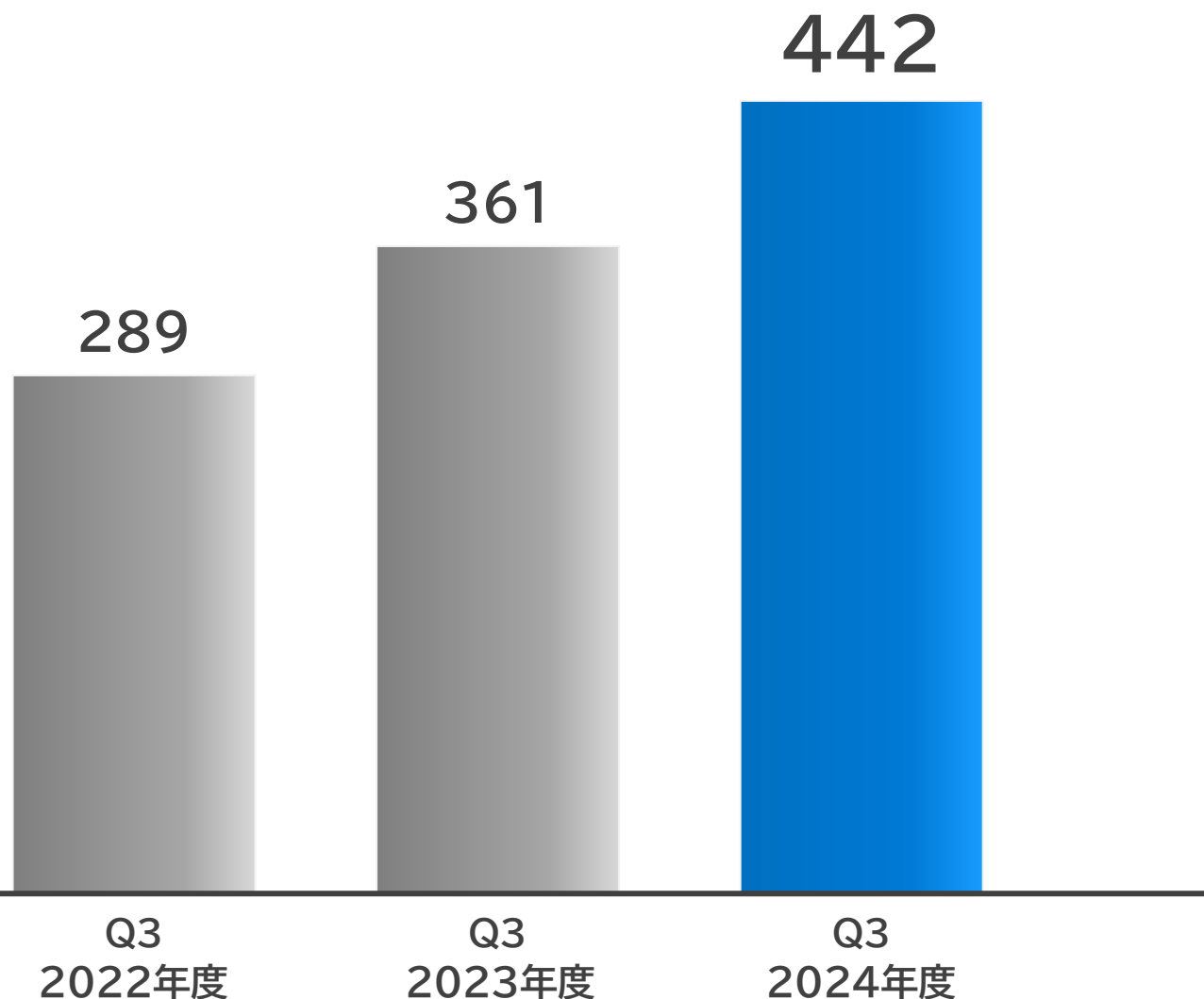
四半期売上高  
ロイヤルティー収入  
過去最高

(出所) Arm  
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照  
「ライセンスおよびその他の収入」は「ロイヤルティー収入」以外の収入を指す。

# 調整後営業利益(四半期)(米国会計基準)



(\$ M)



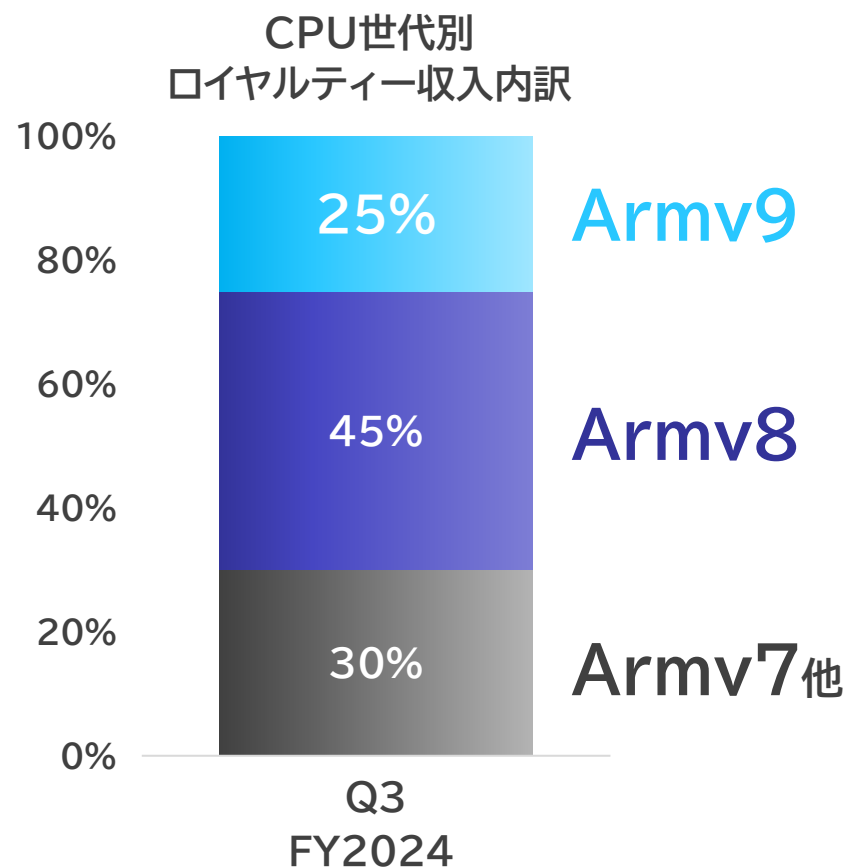
アナリスト  
コンセンサスを  
上回る

(出所) Arm  
調整後営業利益は「Non-GAAP Operating Income」を示す。GAAP基準数値とNon-GAAP  
数値間の差異については、アームの「FYE25-Q3 Shareholder Letter」を参照  
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照  
2024年12月30日時点のアナリストコンセンサス: \$392M (FactSetより)

# ロイヤルティー収入の成長ドライバー

## Armv9

- ✓ ロイヤルティー単価は、Armv8の約2倍
- ✓ スマートフォンおよびクラウド分野で採用



## コンピュータ・サブシステム(CSS)

- ✓ 顧客の製品開発時間を短縮し、開発費用を削減
- ✓ ロイヤルティー単価の更なる引き上げを実現可能



(出所) Arm  
CSS(コンピュータ・サブシステム): 検証・統合された複数のアームの技術の組み合わせ  
詳細は、Arm Investor Relations (<https://investors.arm.com/>)を参照

# ソフトバンク・ビジョン・ファンド(SVF)概要

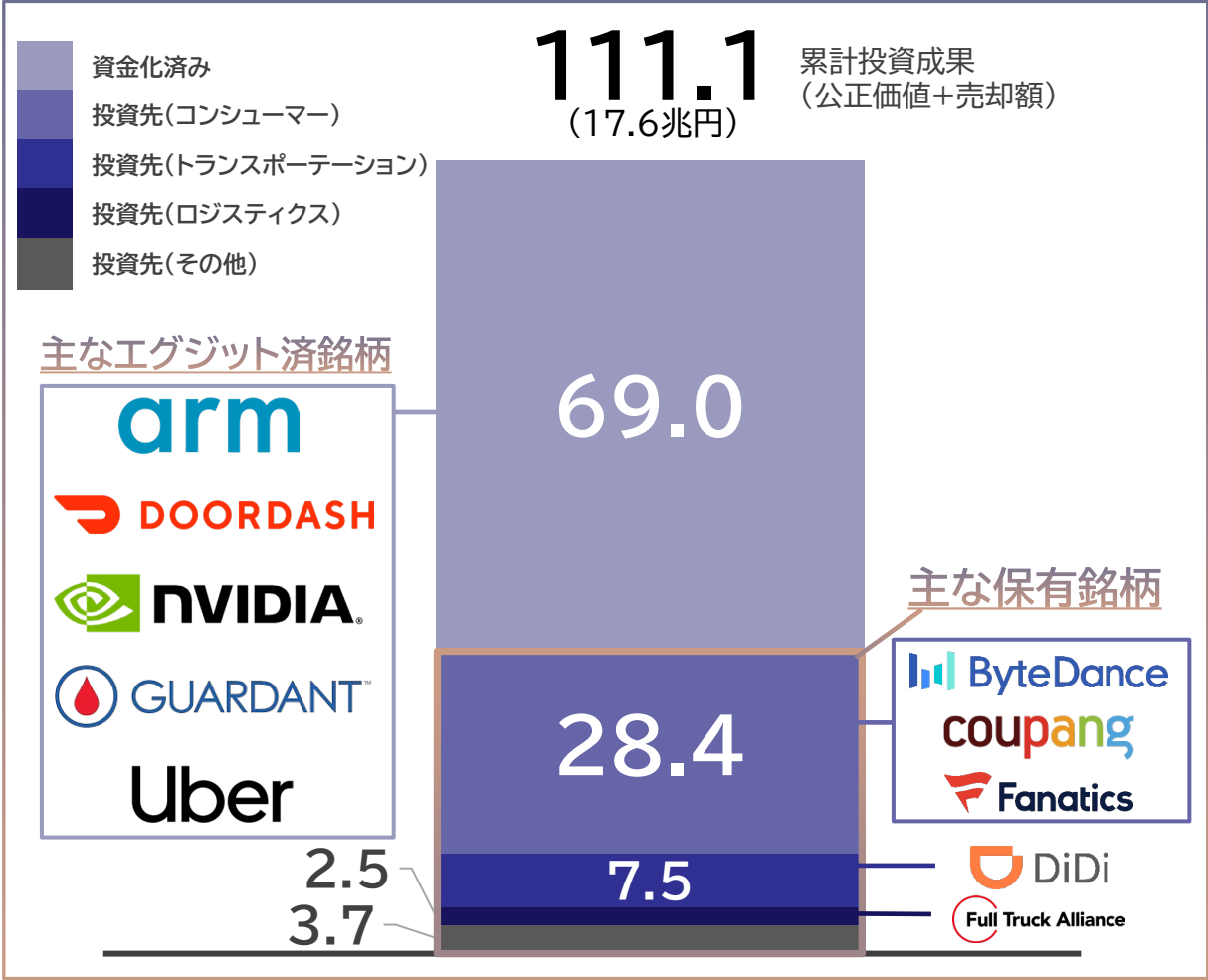
| (2024年12月末)<br>(\$ B) | SVF1                          | SVF2                          | LatAmファンド                     |
|-----------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 累計出資額                 | 98.6<br>(15.6兆円)              | 65.8<br>(10.4兆円)              | 7.8<br>(1.23兆円)               |
| 累計投資成果                | 111.1<br>(17.6兆円)             | 33.0<br>(5.2兆円)               | 6.4<br>(1兆円)                  |
| 投資開始                  | 2017年                         | 2019年                         | 2019年                         |
| 存続期間                  | 2029年まで<br>(最大2回の1年延長オプションあり) | 2032年まで<br>(最大2回の1年延長オプションあり) | 2032年まで<br>(最大2回の1年延長オプションあり) |

SVF1の累計出資額:アーム株式を活用した支払義務履行分(約82億米ドル相当)のほか、SVF1に関連するインセンティブ・スキームへ活用される25億米ドルを含む  
SVF2の累計出資額:コミットメント残額には再コール可能な払込資金返還額を含む  
累計出資額、累計投資成果の円建ての数値はFY24Q3期末レート(158.18円)にて換算した参考値

# SVF：累計投資成果(公正価値+売却額)

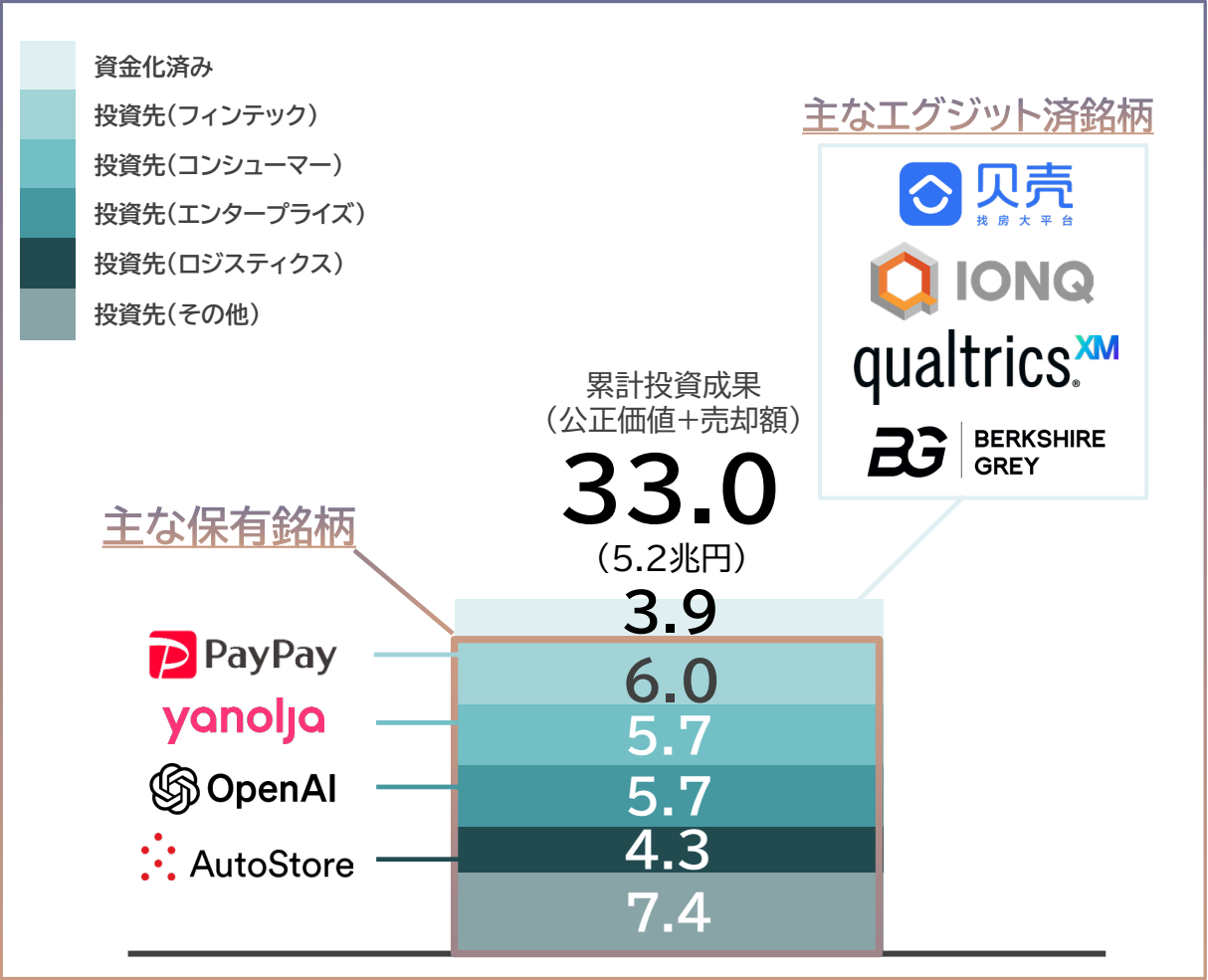
(\$ B)

SVF1



(\$ B)

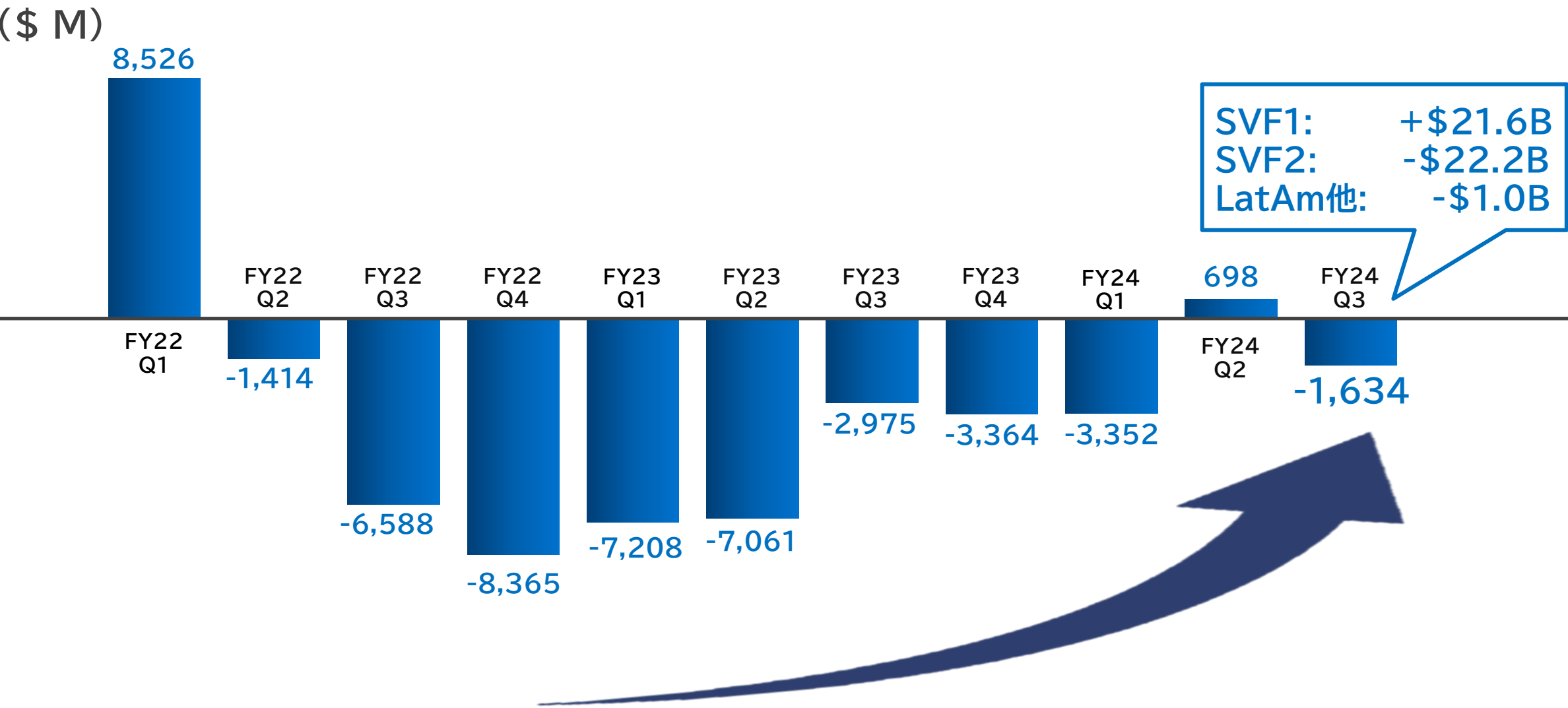
SVF2



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開／未公開の区分は、各四半期末時点の状態に基づく。  
エグジット済には、株式交換および投資先の組織再編による処分(売却)、デリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。  
SVF2のエグジット前の投資の投資額および公正価値には、投資の取得対価の一部として受領した他会社の非支配持分に係るものを含む。  
累計投資成果(公正価値+売却額)の円建ての数値はFY24Q3期末レート(158.18円)にて換算した参考値

# SVF:投資損益 (活動開始来累計)

USDベース  
(SVFセグメント)



投資損益(活動開始来累計):SVF事業からの投資損益(セグメント情報)の2017年度Q1からの累計計上額  
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

# 株式公開実績と今後のパイプライン

## 将来の株式公開に向けた強固なパイプラインを確保

株式公開実績(活動開始来累計)

54件

2024年4月～12月の新規株式公開

4件



Swiggy

(11月)



firstcry.com

OLA ELECTRIC

(4月～9月)

レイトステージ投資先の公正価値合計 **\$33B**

主なレイトステージ投資先

SVF1



SVF2 & LatAmファンド

Klarna

KAVAK

LatAm ファンド

OpenAI

QuintoAndar

LatAm ファンド



LatAm ファンド

# SVF2:OpenAIへの追加出資

2025年1月、セカンダリー出資を実行

2024年9月  
プライマリー

\$0.5B

+

2025年1月  
セカンダリー

\$1.5B

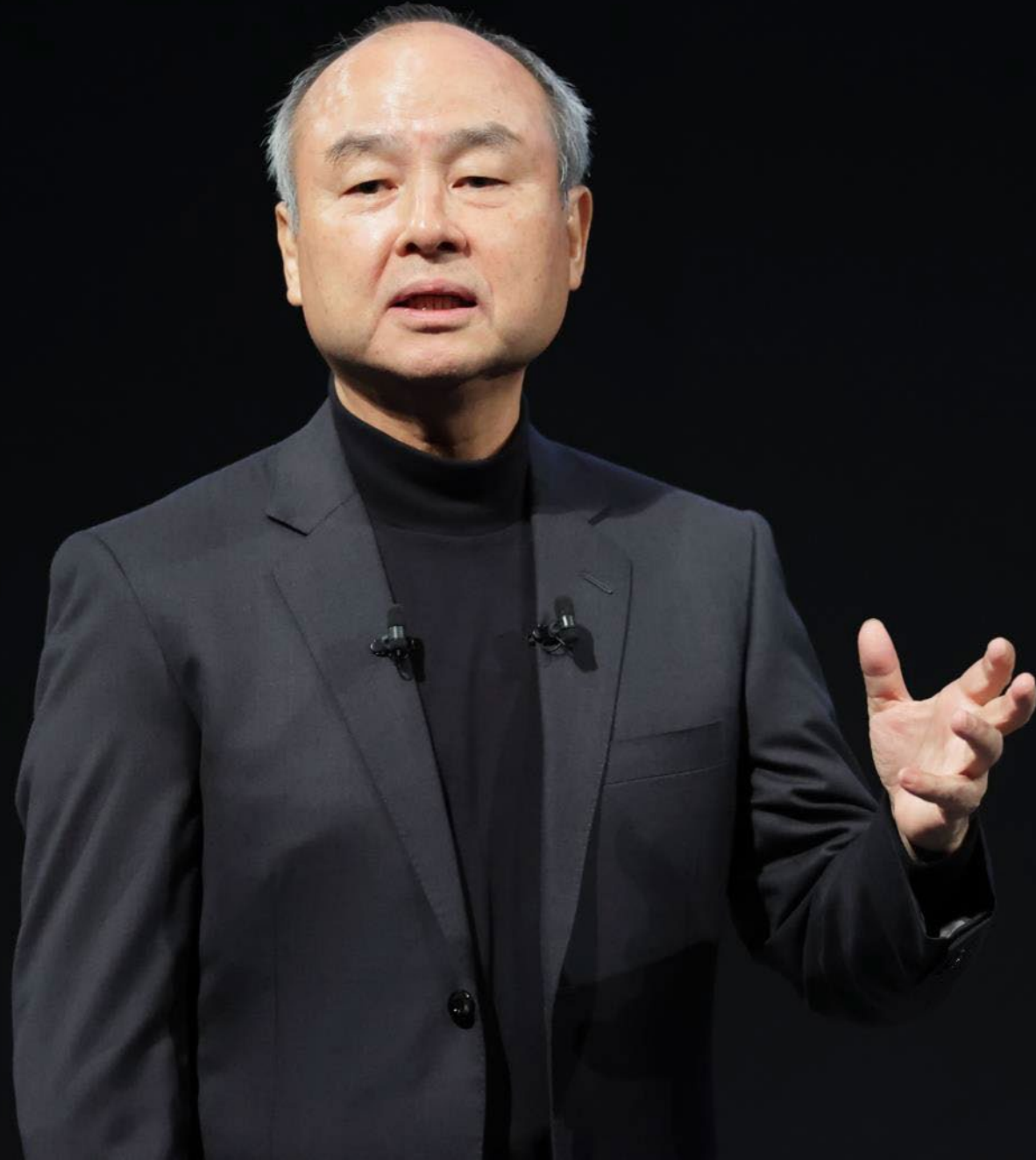
総投資額

\$2.0B

本スライドに含まれる情報は、情報提供のみを目的としている。本スライドに記載の投資への言及は、特定の投資または証券の推奨として解釈されるべきものではない。  
本スライドに記載の投資は、SVF2によるAI投資を例示するために選択されたものである。  
過去の業績が将来の結果を示すものではない。

AGIは2～3年以内に

ASIは10年以内  
に実現する



AIチップ

AIデータ  
センター

ASI

Artificial Super  
Intelligence

AIロボット

電力

ASI実現をグループ総力で推進

# Stargate

“AIの力で未解決な難題が解決でき、  
人々の生活を助けるだろう”

孫 正義 (2025年1月21日、米国)

# プロジェクト概要

OpenAIのためのAIインフラを構築

# Stargate

Chairman: 孫 正義

 SoftBank  
Group

リードパートナー

財務

OpenAI

運営

ORACLE

IXX

4年間で\$500Bの投資計画  
うち\$100Bの投資開始予定  
プロジェクトファイナンスを中心に資金調達予定

# AIのための計算能力を順次提供

4年後

投資開始



コンピューティングシステムの構築・運営

# プロジェクトイメージ

SoftBank Group  
ORACLE

OpenAI  
HGX

エクイティ出資

## Stargate

エクイティ出資

レンダー／  
デット投資家

- ・ 銀行
- ・ 保険会社
- ・ 年金
- ・ ファンド
- など

プロジェクト  
ファイナンス

プロジェクト  
1

プロジェクト  
2

プロジェクト  
3

プロジェクト  
4

...

データセンター



データセンター



データセンター



データセンター



構築・所有

...

# ファイナンスイメージ

プロジェクト  
総額

デット

エクイティ

レンダー／  
デット投資家

- ・ 銀行
  - ・ 保険会社
  - ・ 年金
  - ・ ファンド
- など

Stargate資本

SoftBank  
Group  
ORACLE

OpenAI  
//GX

エクイティ出資割合は  
限定的

# 2025年2月3日 戦略的パートナーシップ発表

＝ SoftBank  
Group

arm

＝ SoftBank

×

OpenAI

# 法人向けAIエージェントの普及を加速



Cristal

個々の企業の全てのシステム、データを安全に統合し、  
企業ごとにカスタマイズされた最先端AI

AIエージェント＝環境を認識し、判断し、学習して行動できる自律的なAIシステム

# 企業経営の中核に

## 企業の全情報

- メールデータ
- 商談履歴
- 会議資料・議事録
- コールセンター履歴
- システムソースコード
- 提案書・仕様書
- クラウド上のデータ
- 映像情報
- …



投入



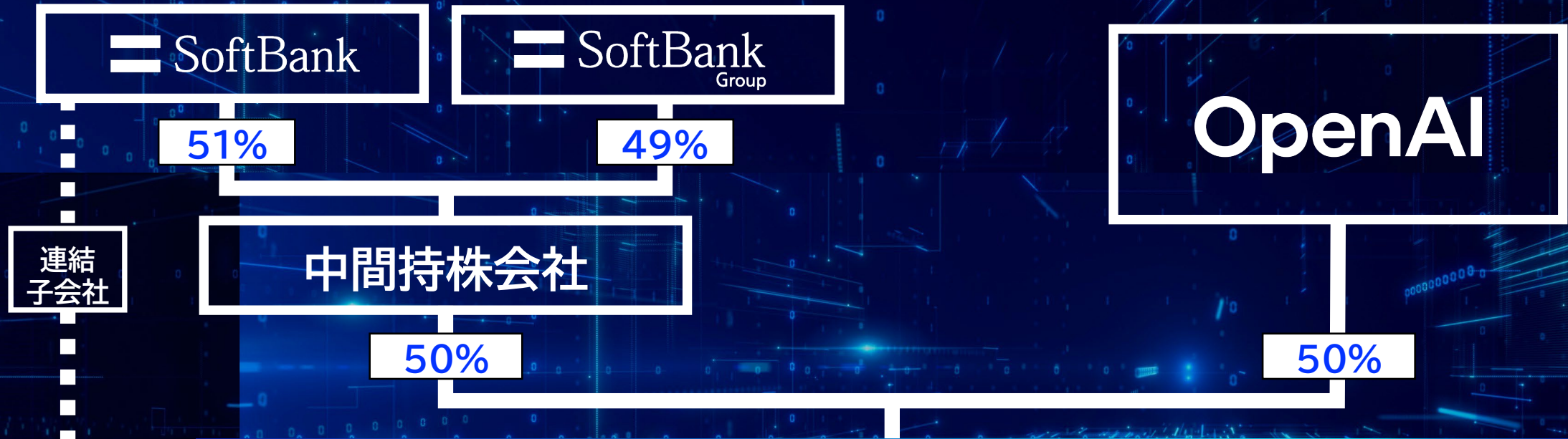
あらゆる業務を  
AIエージェント化し  
自律的な業務遂行を  
実現

## 企業のシステムを 自動化



まずソフトバンク、アーム、LINEヤフー、PayPay、ZOZOなど  
SBGグループ各社にも導入:年間利用料\$3B

# 日本展開のためにJVを設立



「SB OpenAI Japan」

日本の主要企業向けに  
「クリスタル・インテリジェンス」を独占販売へ

日本のあらゆる産業における企業変革を目指す

# 財務方針の堅持

- 1 通常時 **LTV25%未満** で運用（異常時でも上限35%）
- 2 少なくとも **2年分の社債償還資金** を保持
- 3 SVFや子会社から **継続的な配当収入** を確保

# 2024年度の財務戦略

## 財務理念

投資戦略と  
シンクロした財務運営

## 財務原則

- ・財務方針の堅持
- ・あらゆる環境変化へ柔軟に対応
- ・各ステークホルダーとの信頼関係構築  
(株主還元と財務改善の最適なバランスを追求)

## 2024年度 財務戦略

**将来NAV拡大のための成長投資を最優先**

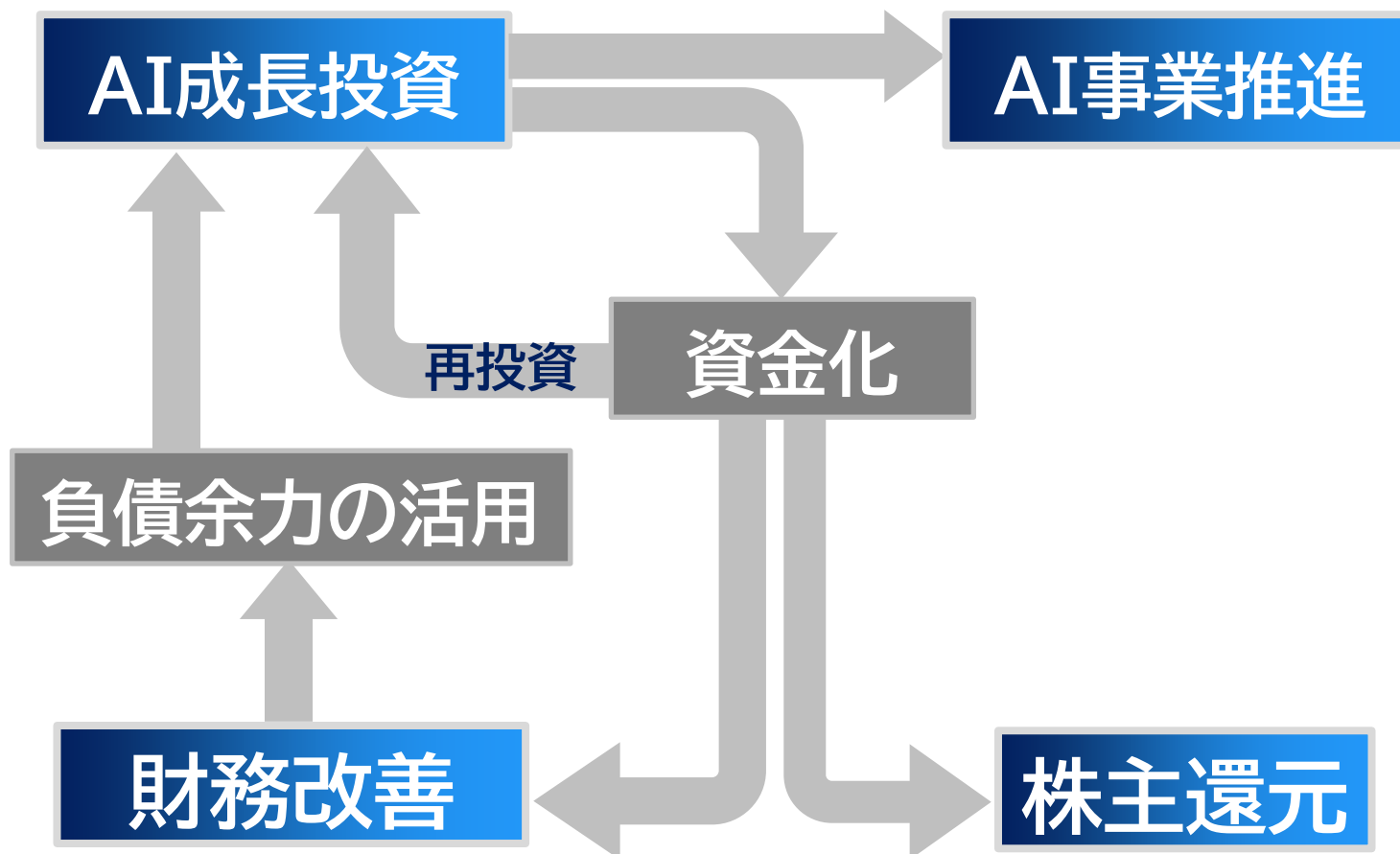
1. 潤沢な手元流動性の有効活用
2. 戦略投資を支えるノンリコース調達の積極活用
3. ポートフォリオのモニタリング強化→回収と再投資

# キャピタルアロケーションの基本方針

## 財務方針を堅持しながら戦略的な資本配分

事業モデル: 資本循環を通じた事業とアセットの成長

現在の取り組み



- ・成長投資を優先して継続
- ・自己株式の取得継続
- ・各種負債性調達を実施
  - ・直間比率を考慮した新規ローン調達
  - ・手元流動性の確保

# 自己株式の取得



最大5,000億円: 2024年8月7日の取締役会で決議された自己株式の取得枠  
詳細は、2024年8月7日付プレスリリース「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」を参照



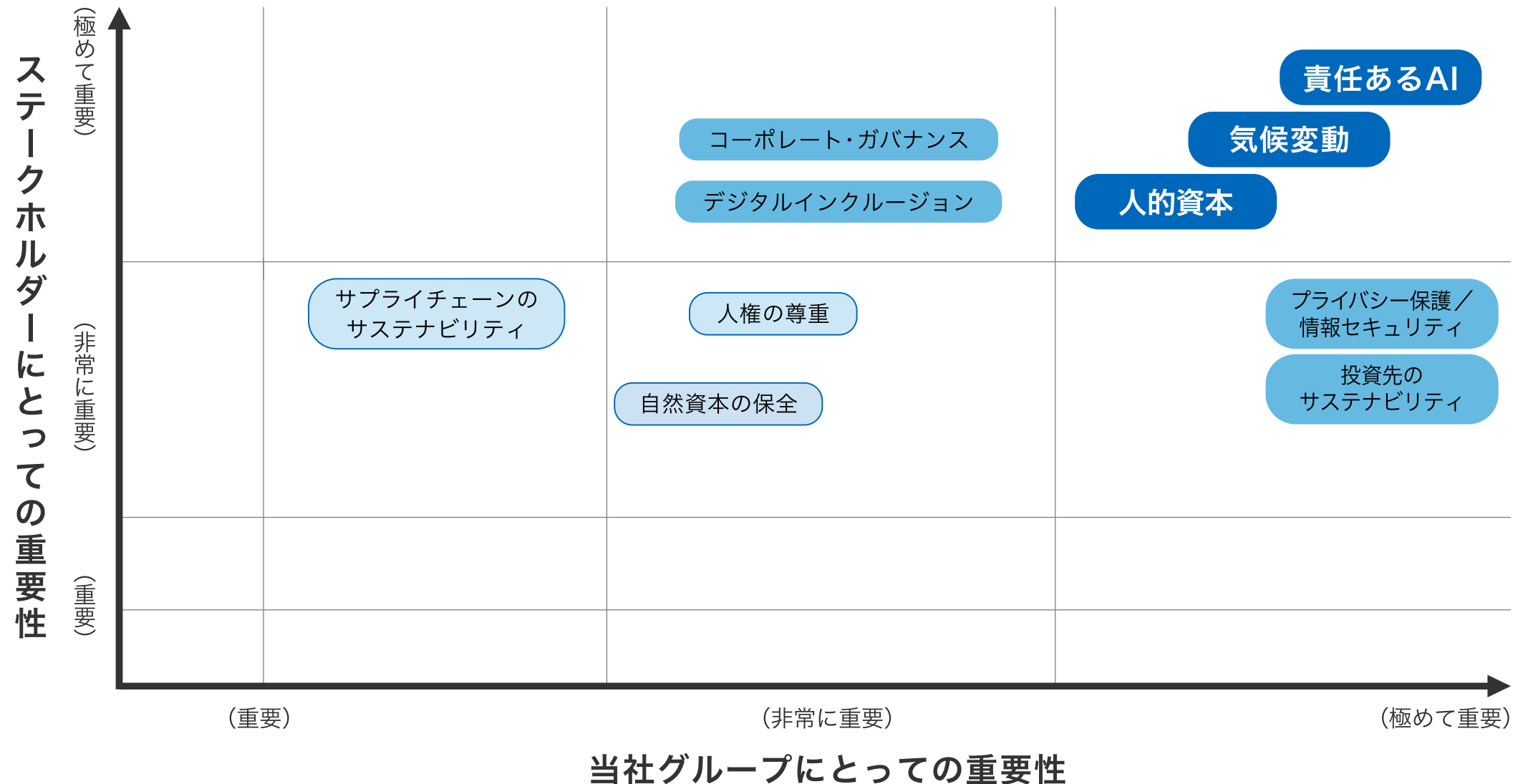
# ASI

情報革命で人々を幸せに

# サステナビリティ

# マテリアリティの見直し

社会環境や事業環境などの変化を踏まえて見直しを実施



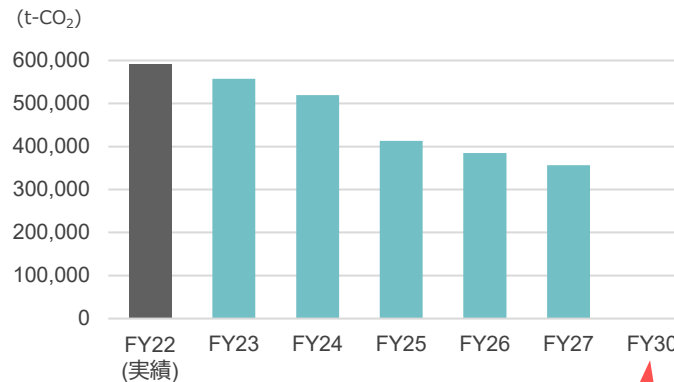
# サステナビリティの最優先課題への対応

## 責任あるAI

AIガバナンスWGの設置  
—  
SBGらしいAIガバナンス  
の在り方を検討

## 気候変動

SBGおよび主要子会社の  
GHG排出量 (Scope1,2)  
削減計画策定



グループ目標  
FY2030  
カーボンニュートラル達成

<https://group.softbank/sustainability/environment#2>

## 人的資本

自律的でプロフェッショナルな  
人材の確保と成長・活躍支援  
—  
社員が個性や能力を最大限に  
発揮しながら、挑戦し活躍できる  
社内環境を整備

# サステナビリティの解決に資する投資先

投資を通じて環境課題や社会課題の解決を目指す



上記は環境・社会課題の解決に資する投資先の一部（2025年1月末時点）

# NAV・LTVの定義及び算出方法（2024年12月末時点）

## 1. NAV（Net Asset Value: 時価純資産）

- NAV = 保有株式 - 純負債

## 2. 保有株式（保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後）

- アーム: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 — グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 — 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 — 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 — 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 — 同社株式を活用した複数の先渡売買契約（フォワード契約）のうち未決済分の満期決済金額（同社株価で算出）の合計額
- その他: (a) + (b) + (c)
  - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
  - (b) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出
  - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。なおSB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローン及びプライムブローカレッジローンを除く）はSBGの純有利子負債の一部と見なし、同社NAVの算出には含めない。

## 3. 純負債（アセットバック・ファイナンス調整後）

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: アーム、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びソフトバンク（LINEヤフー株式会社及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む）等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
  - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローン及びプライムブローカレッジローンを除く）をSBGの純有利子負債の一部と見なす。
- その他調整: 以下の(d)～(i)の調整額の合計
  - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除（対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債）
  - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入（対象社債: ミドル建ノンコール10年永久劣後社債）
  - (f) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
  - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
  - (h) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
  - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債を控除

## 4. LTV（純負債／保有株式）

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

## 5. その他

- 株価: 2024年12月31日終値
- 為替: 1ドル = 158.18円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アーム = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アリババ = Alibaba Group Holding Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

# NAV・LTVの定義及び算出方法（2024年9月末時点）

## 1. NAV（Net Asset Value: 時価純資産）

- NAV = 保有株式 - 純負債

## 2. 保有株式（保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後）

- アーム: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 — グループ内取引によりSVF1から取得した同社株式の未払金残高 — 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1のNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2のNAVに対するSBGの持分等
- LatAmファンド: LatAmファンドのNAVに対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- ソフトバンク: SBGの保有株式数 × 同社株価 — 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- Tモバイル: SBGの保有株式数 × 同社株価
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 — 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- アリババ: SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 — 同社株式を活用した複数の先渡売買契約（カラー契約・フォワード契約）のうち未決済分の満期決済金額（同社株価で算出）の合計額
- その他: (a) + (b) + (c)
  - (a) 上場株式: SBGの保有株式数に各株式の株価を乗じて算出
  - (b) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出
  - (c) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分。なおSB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローン及びプライムブローカレッジローンを除く）はSBGの純有利子負債の一部と見なし、同社NAVの算出には含めない。

## 3. 純負債（アセットバック・ファイナンス調整後）

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: アーム、SVF1、SVF2、LatAmファンド及びソフトバンク（LINEヤフー株式会社及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む）等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
  - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物、債券投資、一部の有利子負債（マージンローン及びプライムブローカレッジローンを除く）をSBGの純有利子負債の一部と見なす。
- その他調整: 以下の(d)～(i)の調整額の合計
  - (d) ハイブリッド債及びハイブリッドローンのうち、償還期限のあるものは連結会計上全額が有利子負債に計上されるため50%を有利子負債から控除（対象社債: 第4回円建ハイブリッド債、第5回円建ハイブリッド債、第6回円建ハイブリッド債）
  - (e) ハイブリッド債のうち償還期限の無い永久債は連結会計上全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入（対象社債: 米ドル建ノンコール10年永久劣後社債）
  - (f) アーム株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
  - (g) ソフトバンク株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
  - (h) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
  - (i) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約（カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債を控除

## 4. LTV（純負債／保有株式）

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

## 5. その他

- 株価: 2024年9月30日終値
- 為替: 1ドル = 142.73円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アーム = Arm Holdings plc、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAmファンド = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、ソフトバンク = ソフトバンク株式会社、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アリババ = Alibaba Group Holding Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。